

検定成績集計表が新しくなりました

発行元：(社)家畜改良事業団 電子計算センター
 〒135-0041 東京都江東区冬木11-17 大野ビル18F
 Tel 03-3621-8821 FAX 03-3621-8922
 e-mail : toiwase@liaj.or.jp URL : http://liaj.lin.gr.jp/

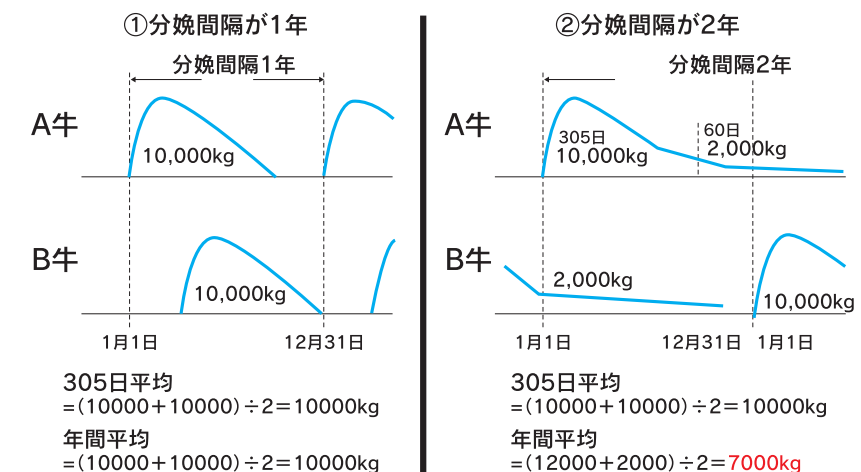
1 検定成績集計表

牛群検定にはいろいろな帳票があります。この度、新しい帳票として検定成績集計表（12ヵ月間）を発行する準備が出来ましたので、その概略を紹介します。
 この帳票は以前に年間集計表として発行していたものを、内容を一新したもので、ご存じの方も多いかと思えます。今回大きく異なるのは「予測乳量」を追加し、**経営的に儲かる牛を検討するアイテムとしてパワーアップしたところ**にあります。

2 12ヵ月間乳量とは？

検定成績集計表で取り上げる乳量は、12ヶ月間乳量という過去1年間に生産された乳量なので、305日乳量とはとりまとめ方が異なります。例をあげれば1月1日から12月31日までに生産された乳量ということになります。305日乳量との大きな違いは、乳期とか、分娩年月日といった概念を持ち込まないところにあります。
 「個体の能力がいくら高くとも、繁殖成績が悪ければ儲からない」と、良くいわれているところですが、このことを最も良く示すことの出来る概念が12ヵ月間乳量です。
 下の例で紹介します。分娩間隔が1年と2年のどちらの農家も305日平均乳量は10,000kgです。しかし、分娩間隔が1年の農家が1頭あたり年間10,000kg出荷できるのに対し、分娩間隔が2年の農家は年間に7,000kgしか出荷出来ません。この乳量が12ヵ月間乳量です。

例) 305日乳量が10,000kgの牛を2頭しか飼養していない農家で分娩間隔が1年と2年の場合の比較



3 予測乳量とは？

検定牛の授精記録、未経産牛の検定加入により向こう1年間の予測乳量を以下の手順で計算します。

①経産牛の今産次の今後の乳量

泌乳曲線をあてはめて、乾乳予定日までの乳量を計算します。
 乾乳予定日は、授精記録により求めた次産分娩予定日をもとにして当該農家の現在の平均乾乳日数を減算することで求めます。

②経産牛の次産次の乳量

授精記録により求めた次産分娩予定年月日からの乳量を計算します。当該検定牛の今産次の乳量と、当該農家の乳量を比較することで推定します。

③未経産牛の初産次の乳量

授精記録により求めた次産分娩予定年月日からの乳量を計算します。当該農家の平均初産乳量を用いてます。

(注) 以上のような計算を行いますので、未経産の加入、授精記録の報告が不十分な場合、予測が大きく異なる場合も生じます。

4 検定成績集計表の発行要件

(1)発行時期

- 年4回の発行を予定してます。
- 1月～12月集計結果→2月下旬に発行
- 4月～3月集計結果→5月下旬に発行
- 7月～6月集計結果→8月下旬に発行
- 10月～9月集計結果→11月下旬に発行

(2)送付先

農家宛1部を各検定組合あてに送付します。
 ただし、1～12月集計（2月下旬発行）については、農家宛、組合宛2部を送付します。

(3)集計表が発行されないケース

- ①検定に加入して1年未満のとき
 - ②集計期間に3回以上検定を休止したとき
 - ③集計期間に2回連続して検定を休止したとき
 - ④集計期間の終了の翌月の検定記録が2週間以内に当団に送信されないとき
- (例) 平成21年1月～12月の集計の場合
 当該農家の平成22年1月の検定が1月10日に行われたとすれば、1月24日までに当団に検定記録を送信して下さい。

検定成績集計表の例(12ヶ月)

検定成績集計表は、大きく次の4つに分かれています。

A 1頭あたり平均成績

成績を牛群、組合、県、都府県で平均した情報です。自牛群を他と比較し、ポジショニングをチェックします。

B 各検定牛の個別成績

大きく次の3つに分かれていますので、それぞれの区分で検討するようにします。

- a) 期間を通して在籍した検定牛
- b) 期間途中で検定加入した検定牛
- c) 期間途中で除籍された検定牛

C 月別成績

期間内の成績の推移を季節などを考慮し検討するようにします。

D 牛群全体の12カ月成績

期間内の検定成績を合計または平均した結果です。

検定成績集計表 (12ヵ月間)

1 頭 当 り 平 均 成 績										2001001										1									
12ヵ月間成績										搾乳期間中の成績										12ヵ月間予測乳量									
平均	乳量(kg)	1日当り乳量(kg)	乳脂率(%)	蛋白質率(%)	無脂固形分率(%)	③体細胞数(千/ml)	1日当り乳量(kg)	濃厚飼料給与量(kg)	1日当り濃厚飼料給与量(kg)	乳代濃厚飼料費(千円)	飼料効果	乳飼比	12ヵ月間予測乳量(kg)	④検定月	1日当り濃厚飼料給与量(kg)	濃厚飼料単価(円)	乳価(円)	経産牛1日1頭当り乳量(kg)	搾乳牛1日1頭当り乳量(kg)	予測乳量(kg)									
牛群	8339	22.8	3.91	3.17	8.62	110	21	2617	8.0	578	3.2	18	12194	10	7.8	50	85	23.3	26.6	25.2									
組合	8951	24.5	3.98	3.30	8.74	21	20	4037	12.6	573	2.2	27	8904	11	6.9	50	85	21.0	22.5	23.9									
県	8951	24.5	3.98	3.30	8.74	246	28.0	4037	12.6	573	2.2	27	9154	12	8.1	50	85	25.4	25.4	22.6									
都府県	8925	24.5	3.88	3.27	8.71	266	28.0	3696	11.6	645	2.4	23	9516	1	8.1	50	85	22.7	25.4	24.5									

12ヵ月間成績										搾乳期間中の成績										12ヵ月間予測乳量									
牛コード	個体識別番号	年月日	年齢(才)	産次	年月日	除籍	乾乳日数(日)	搾乳日数(日)	乳量(kg)	1日当り乳量(kg)	乳脂率(%)	蛋白質率(%)	無脂固形分率(%)	③体細胞数(千/ml)	1日当り乳量(kg)	濃厚飼料給与量(kg)	1日当り濃厚飼料給与量(kg)	乳代濃厚飼料費(千円)	飼料効果	乳飼比	12ヵ月間予測乳量(kg)								
0041	33333-6959-8	19.08.03	2	0	01		27	338	11466	31.4	2.94	3.22	8.84	173	33.9	2964	8.8	826	3.9	15	12194								
0034	33333-3130-5	20.09.29	6	0	04		-	365	9037	24.8	4.11	3.36	8.62	133	24.8	3034	8.3	616	3.0	20	8904								
0021	33333-3113-8	19.05.08	7	8	06		36	329	8898	24.4	4.37	3.11	8.44	117	27.0	2934	8.9	610	3.0	19	9154								
0033	33333-3129-9	20.06.27	5	9	04		64	301	8659	23.7	3.58	2.78	8.19	50	28.8	2644	8.8	604	3.3	18	9516								
0048	33333-6973-4	20.07.19	2	0	01		-	365	8579	23.5	3.92	3.37	8.93	40	23.5	2567	7.0	601	3.3	18	10453								
0038	33333-6941-3	20.06.03	4	3	03		64	301	8317	22.8	3.62	3.19	8.64	109	27.6	2710	9.0	571	3.1	19	8060								
0029	33333-3121-3	21.06.12	5	4	04		65	300	8172	22.4	3.79	3.15	8.62	28	27.2	2751	9.2	557	3.0	20	7485								
0026	33333-3119-0	20.07.07	8	1	06		60	305	7726	21.2	4.10	3.16	8.65	23	25.3	2579	8.5	528	3.0	20	9563								
0042	33333-6966-6	20.01.10	1	11	01		65	300	7694	21.1	3.36	3.20	8.65	82	25.6	2350	7.8	537	3.3	18	7511								
0036	33333-6934-5	21.04.02	3	2	02		44	321	7672	21.0	4.39	3.20	8.65	59	23.9	2727	8.5	516	2.8	21	10041								
0044	33333-6969-7	20.03.12	1	11	01		71	294	7225	19.8	4.55	3.20	8.65	252	24.6	2244	7.6	502	3.2	18	7329								
0043	33333-6968-0	21.07.14	3	3	02		72	293	6867	18.8	3.52	2.99	8.44	222	23.4	2223	7.6	473	3.1	19	7926								
0046	33333-6971-0	20.02.20	1	11	01		65	300	6205	17.0	4.22	3.74	9.23	19	20.7	2082	6.9	423	3.0	20	5136								
0049	33333-6974-1	20.12.21	1	11	01		-	284	7125	25.1	3.76	2.97	8.57	56	25.1	1986	7.0	506	3.6	16	10562								
0050	33333-6975-8	21.02.16	2	0	01		-	227	5873	25.9	4.06	3.10	8.75	48	25.9	1616	7.1	418	3.6	16	8822								
0047	33333-6972-7	21.04.20	2	10	01		-	164	4793	29.2	3.50	2.93	8.32	70	29.2	1261	7.7	344	3.8	15	8744								
0051	33333-3144-6	21.06.15	1	11	01		-	108	2935	27.2	5.11	2.67	8.12	97	27.2	737	6.8	213	4.0	15	6878								
5039	33333-3145-3	21.09.29	2	2	01		-	2	19	9.6	3.61	3.30	8.77	9.6	6	3.0	1	3.2	18	12826									
5040	33333-1556-8	未経産					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7739								
0022	33333-3112-1	19.04.12	7	7	06	21.06.23	-	225	4156	18.5	4.36	3.60	8.92	182	18.5	1807	8.0	263	2.3	26	-								
0031	33333-3124-4	19.12.16	5	10	04	20.12.08	-	43	1117	26.0	3.13	2.96	8.28	20	26.0	322	7.5	79	3.5	17	-								
0015	33333-3108-4	20.07.24	10	3	08	20.11.09	-	15	272	18.1	3.76	3.29	8.94	15	18.1	130	8.7	17	2.1	28	-								

①集計期間
いつからいつまでの検定成績を集計したかを示します。かならず1年間を対象とします。

②分娩年月日
期間内で泌乳している乳期の分娩年月日です。期間を通して在籍していれば通常2乳期(分娩が2回)になります。

③牛の並び
期間を通して在籍した牛で、乳量の多い順に並んでいます。一番上に記載された牛が、この1年間で一番稼いだ牛ということです。

④牛の並び(新規牛)
期間内に初産分娩した牛または、分娩予定の未経産牛で、乳量順に並んでいます。各牛の搾乳期間が異なりますので注意が必要です。

⑤牛の並び(除籍牛)
期間内に除籍した牛で、乳量順に並んでいます。

⑥乾乳日数、搾乳日数
期間内での乾乳日数、搾乳日数になります。期間を通して在籍した牛の場合、これらを加算すると365日(または366日)になります

⑦12カ月乳量
表紙に詳細解説

⑧1日当たり乳量
1日当たり乳量=(⑦12カ月乳量)÷(⑥乾乳日数+搾乳日数)
新規牛は、まだ乾乳していない場合が多いため、期間を通して在籍した牛より高めに計算される傾向があるので注意が必要です。

⑨各乳成分
期間内での平均の乳成分値

⑩搾乳期間中成績1日当たり乳量
1日当たり乳量=(⑦12カ月乳量)÷(⑥搾乳日数)
繁殖成績が悪く、期間中に分娩更新が無く、少量を搾っているような場合、⑦の12カ月乳量が高くとともに、この乳量の順位は逆転する牛もいます。本例では、48号と38号が逆転した例になります。

⑪濃厚飼料給与量、1日当たり濃厚飼料給与量
期間内で給与された濃厚飼料量

⑫乳代-濃厚飼料費
乳量と濃厚飼料量を円に換算した1頭ごとの粗利益になります。この1年間で一番稼いだ牛はどれかチェックしてみましょう!

⑬飼料効果、乳飼比
飼料効果=乳量(kg)÷濃厚飼料量(kg)
乳飼比=濃厚飼料費(円)÷乳代(円)
この2つの成績はいろいろな利用法がありますが、一般的利用法としては次の通りです。
飼料効果: 濃厚飼料の利用性を見る。
個体ベースで利用されることが多い。
乳飼比: 経営的なものを見る。
農家として群ベースで利用されることが多い。

⑮月別成績
各検定月ごとの検定日成績を平均した数値です。毎月安定した結果になっているかどうかチェックします。(注: 検定日間まで考慮した12カ月成績とは、数値が異なります)

⑯予測乳量
将来1カ年の搾乳牛1頭当たりの予測乳量。この例では平成22年10月、11月、12月、、、左記とは1カ年将来になるので注意が必要です。予測の開始月に*マークが表示されます。

⑰牛群全体の12カ月成績
平均経産牛頭数、平均搾乳牛頭数
集計期間を通して在籍した時に1頭として計算します。
新規牛の49号のように343日間しか在籍していない場合は、284÷365=0.8頭として計算します。

⑱繁殖成績
集計期間の期末時点の繁殖成績を表示してあります。
例) 集計期間: 平成20年10月~平成21年9月
繁殖成績: 平成21年9月時点の繁殖成績

⑲12カ月間予測乳量
計算方法は裏表紙参照。
発行日から1年間の予測になります。予測期間は検定農家の毎月の検定結果のタイミングにより、前後することがあります。各農家の予測開始月については⑲を参照して下さい。

- ① 新規牛には、検定日数365日(もしくは366日)に満たない検定牛を含みます
- ② 集計期間内における除籍日までの記録です
- ③ 体細胞数 = 12ヵ月間の検定日の平均(千個/ml)
- ④ 月別成績では、最近1カ年の検定月を示します予測乳量では、将来1カ年の検定月を示し、*が予測の開始月です
- ⑤ 検定間隔とは、前回検定日と今回検定日との間隔です但し、100日を超える場合は99と表記しています

④ 月別成績

⑤検定月	⑥検定間隔	⑦1日当り濃厚飼料給与量(kg)	⑧濃厚飼料単価(円)	⑨乳価(円)	⑩経産牛1日1頭当り乳量(kg)	⑪搾乳牛1日1頭当り乳量(kg)	⑫予測乳量(kg)
10	26	7.8	50	85	23.3	26.6	25.2
11	28	6.9	50	85	21.0	22.5	23.9
12	28	8.1	50	85	25.4	25.4	22.6
1	36	8.1	50	85	26.0	26.0*	29.1
2	32	8.5	50	85	24.3	26.0	27.1
3	24	8.2	50	85	23.6	25.2	24.1
4	34	8.1	50	85	22.7	25.4	24.5
5	28	8.3	50	85	19.3	25.2	26.2
6	40	7.7	50	85	21.9	26.2	25.6
7	24	8.2	50	85	20.8	27.2	28.7
8	35	8.2	50	85	21.5	28.1	27.1
9	26	7.5	50	85	19.8	24.1	26.6
平均		8.0	50	85	22.4	25.7	25.9

牛群全体の12ヵ月間成績

平均経産牛頭数	15.9頭
平均搾乳牛頭数	14.2頭
延 頭 数	21頭
総 乳 量	132,808 kg
経産牛1頭当り乳量	8,339 kg
総 乳 価	5,187 kg
総 蛋 白 量	4,210 kg
総 無 脂 固 形 分	11,453 kg
総濃厚飼料給与量	41,673 kg
総乳代-総濃厚飼料費	9,206千円
平均乾乳日数	66日
平均分娩間隔	466日
平均初産月齢	26.0ヵ月齢
平均産次	4才4月
平均産次	2.9産

生乳予測について詳細な情報をご希望の場合は、別途お申し出下さい